個人投資家向け会社説明会

2024年7月18日（木）

証券コード：4886
あすか製薬ホールディングス株式会社

本日の内容

1. あすか製薬ホールディングスとは
2. 事業会社の紹介
3. あすか製薬ホールディングスの成長戦略
4. サステナビリティへの取り組み
5. 経営成績・株主還元方針

あすか製薬ホールディングスとは

ブランドステートメント

あすも、みらいも、すこやかに



自分らしく今を生き、すこやかな人生を歩む一人ひとりのために。
人と動物が幸せに暮らす社会をつくるために。

100年を超えて創薬を追求してきた私たちだからこそ、
すべてのいのちに、新たな希望を届け続けることの大切さを知っています。

私たちはホルモン製剤のパイオニアとして、
そして、女性医療をリードする企業として、
予防から検査・診断、治療そして予後までを見据える
「トータルヘルスケアカンパニー」を目指します。

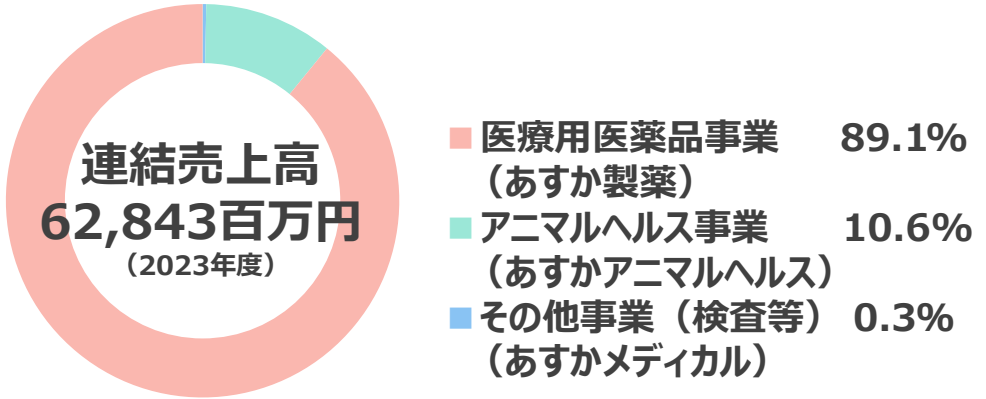
あすも、みらいも、すべてのいのちが、すこやかでありますように。
私たち、あすか製薬ホールディングスの挑戦は続きます。

あすか製薬ホールディングスの概要

商号	あすか製薬ホールディングス株式会社
設立年月日	2021年4月1日
資本金	11億9,790万円
単元株式数	100株
本社所在地	東京都港区芝浦二丁目5番1号
従業員数（連結）	762名※1
グループ会社数	連結子会社：3社 持分法適用関連会社：3社
時価総額	758億2,729万円※2
証券コード	4886（東証プライム）



代表取締役社長
山口　隆



※1　従業員数・グループ会社数は2023年度末現在
※2　時価総額は2024年6月28日付終値（2,481円）より算出

あすか製薬ホールディングスの事業会社

あすか製薬ホールディングス株式会社

経営理念：先端の創薬を通じて人々の健康と明日の社会に貢献する

医療用医薬品事業

あすか製薬株式会社



経営理念
先端の創薬を通じて、
人々の健康と明日の医療に貢献する

アニマルヘルス事業

あすかアニマルヘルス株式会社



経営理念
動物の健康と食の安全を守ることにより、
人と動物が共生できる社会づくりに貢献する

検査事業

株式会社あすか製薬メディカル



経営理念
最新の測定技術を通して
豊かな健康社会づくりに貢献する

「予防、検査・診断、治療、予後」のトータルヘルスケアカンパニーを目指します

あすか製薬ホールディングスの歩み

世のため人のため、国益を最優先する志が事業の原点

1893年（明治26年）
創業者山口八十八が洋酒・食料品輸入商「山口八十八商店」を開業。
輸入一辺倒の状況に疑問を抱き、国益に資するべく食品の国産化を目指し、
食品製造業への進出を図る。


創業者 山口八十八

1908年（明治41年）
「帝国社食品工場」を開設、国内初の人造バター（マーガリン）を製造・販売。
以後、牛脂、豚脂、肉・野菜の缶詰、ハムなど次々と国産化に成功。
製造過程で大量に廃棄されていた動物の臓器に着目、独自のホルモン薬の研究を開始。



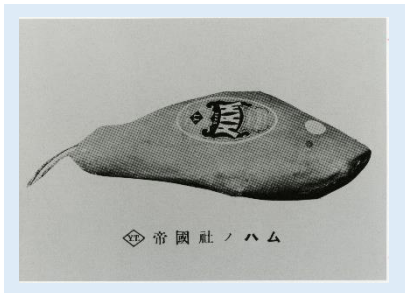
帝国社食品工場

1920年（大正9年）
「帝国社臓器薬研究所」を創設、男性ホルモン製剤「スペルマチン」の製造・販売を
開始し、医薬品製造業に進出。（当社の創立）


人造バター（マーガリン）



野菜の缶詰



ハム


男性ホルモン製剤
「スペルマチン」

ホルモンとは
主に内分泌臓器や組織でつくられ、体のいろいろな機能を調節する働きがあります。
非常に少ない分量で効果があります。

あすか製薬ホールディングスの歩み

創立以来100年にわたって内分泌ホルモンの研究で社会課題解決に取り組む



1920年～
製薬企業としての
第一歩を踏み出す



1955年～
株式上場
成長～発展



2005年～
あすか製薬誕生
さらなる発展へ



2021年～
HD体制化
次の100年へ

独創的な発想で次々とホルモン製剤を発売

国内初となる様々なホルモン製剤を発売





ホルモン研究の技術を活用して事業を展開

医薬品の製品多角化を進めるとともに、検査事業、動物用医薬品事業への展開を図る



女性の健康課題解決に寄り添い成長を目指す

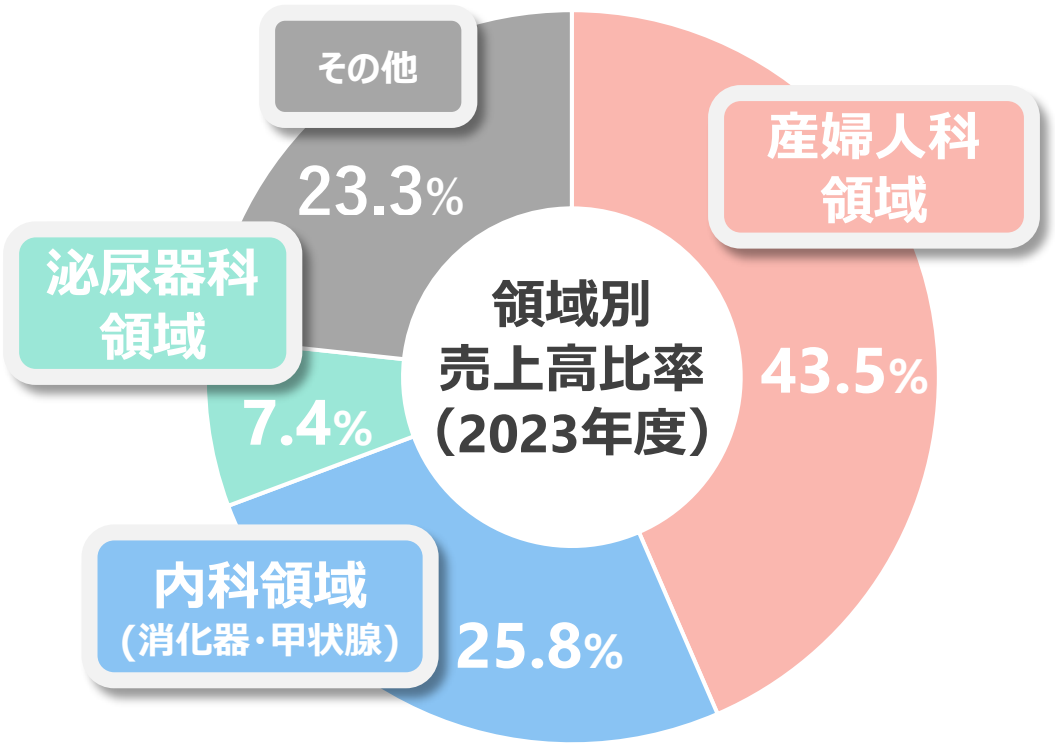
時代のニーズにあった医薬品の開発・発売



事業会社の紹介

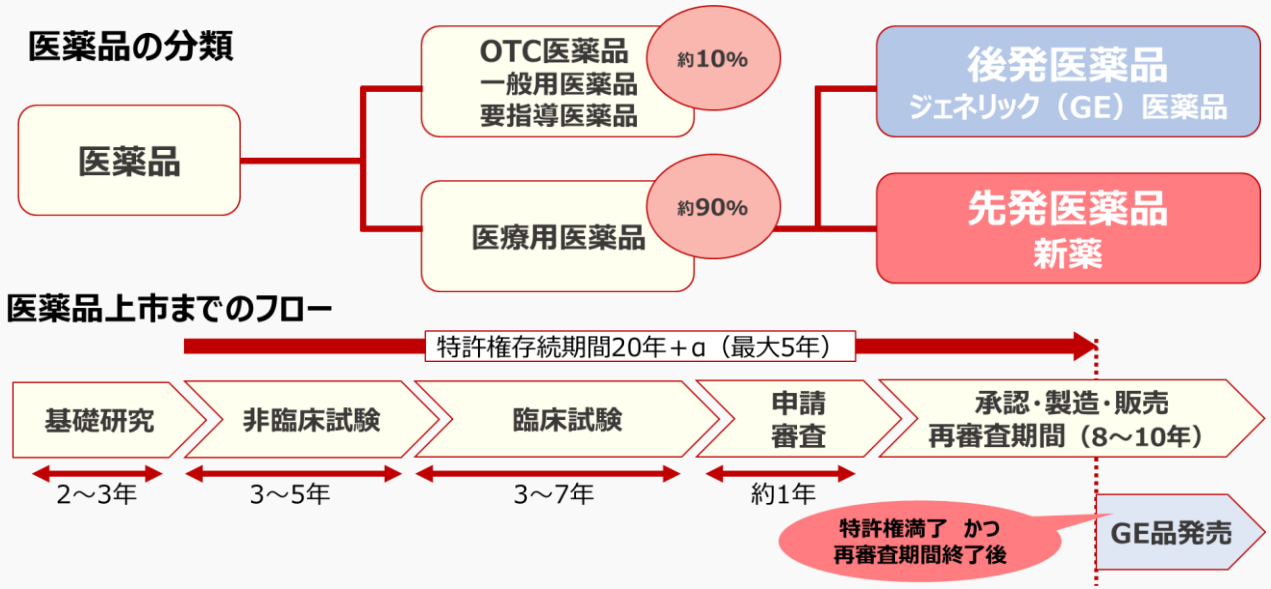
競争力のあるスペシャリティファーマ

３つの重点領域において医療用医薬品事業を展開しています



医療用医薬品とは

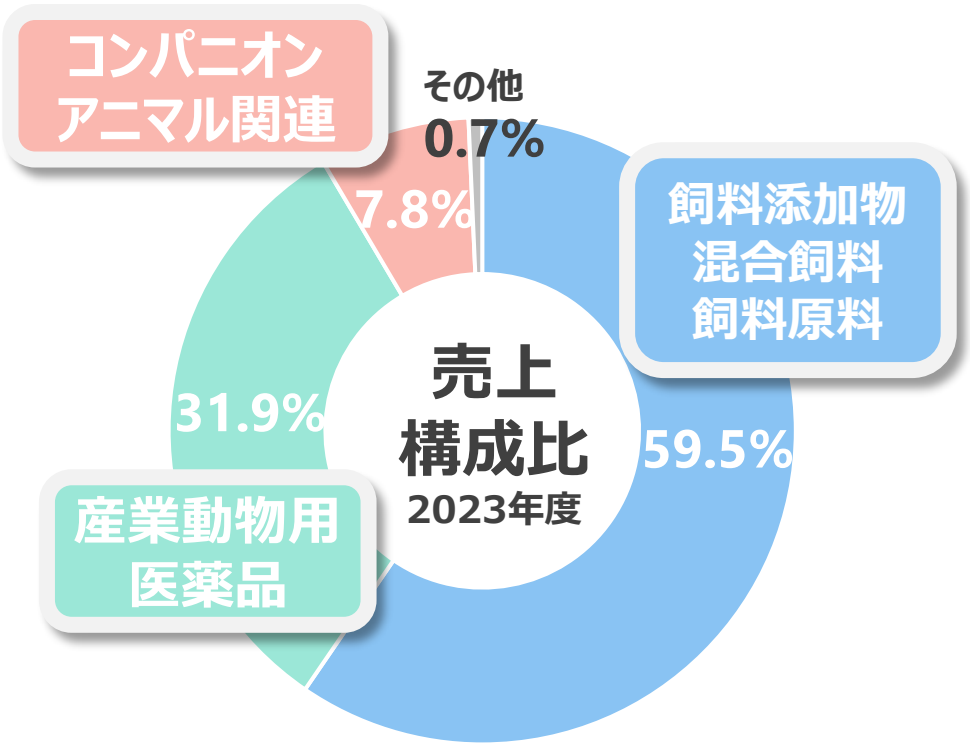
主に医師または歯科医師が診断のうえ、患者さん一人ひとりの病気やけがの程度などを判断して処方し、薬剤師が調剤して使用されるくすりのこと。



コンパニオンアニマル（CA）用医薬品の開発を推進

動物用医薬品などの製品に注力した活動を展開しています

あすかアニマルヘルス　売上構成比



コンパニオンアニマル分野での取り組み

製品名：**チロブロック錠**（2021年1月発売）
適応症：猫の甲状腺機能亢進症



国内で初めて承認された猫の甲状腺機能亢進症治療剤。
あすか製薬の医療用医薬品から転用して開発。
小型錠で猫に優しい製剤設計。

製品名：**トリロスタン錠**（2022年11月発売）
適応症：犬:副腎皮質機能亢進症(クッシング症候群)に伴う諸症状の改善



飲みやすい錠剤で、
小型犬に対応した製剤設計。

株式会社あすか製薬メディカル

強み　内因性ホルモン微量分析技術

独自の検査技術を応用した非侵襲性検査キットの開発を進めています

主な製品

AGAの主な要因となる
ジヒドロテストステロンを測定



毛髪ホルモン量測定キット
ジヒドロテストステロン

男性ホルモンの代表格である
テストステロンを測定



毛髪ホルモン量測定キット
テストステロン



爪・毛髪からコルチゾールを測定し
ストレスレベルを評価

ストレスホルモン量測定キット
コルチゾール

直近の活動

更年期を対象とした
毛髪女性ホルモン量測定キット
「Proges」
2024年4月発売





今後の展開

猫 コンパニオンアニマル用キット

2024年度発売予定

ネコ 体毛甲状腺ホルモン量
測定キット
（対象　甲状腺機能亢進症）

ネコ 体毛コルチゾール量
測定キット
（対象　ストレス）

あすか製薬ホールディングスグループの強み

成長の源泉

内分泌の研究・開発に長年にわたり特化し

100年超

多種多様な製品を開発・発売

あすか製薬

産婦人科領域

No.1

産婦人科領域売上No. 1※

※自社推計：2023年度

あすか製薬

甲状腺領域

No.1

国内甲状腺製品シェア95%

あすかアニマルヘルス

畜水産分野

繁殖用医薬品ラインナップ

畜産ホルモン剤市場において高いシェアを獲得

あすか製薬メディカル

分析技術

内因性ホルモン微量分析

非侵襲性検査事業の拡大

あすか製薬ホールディングス

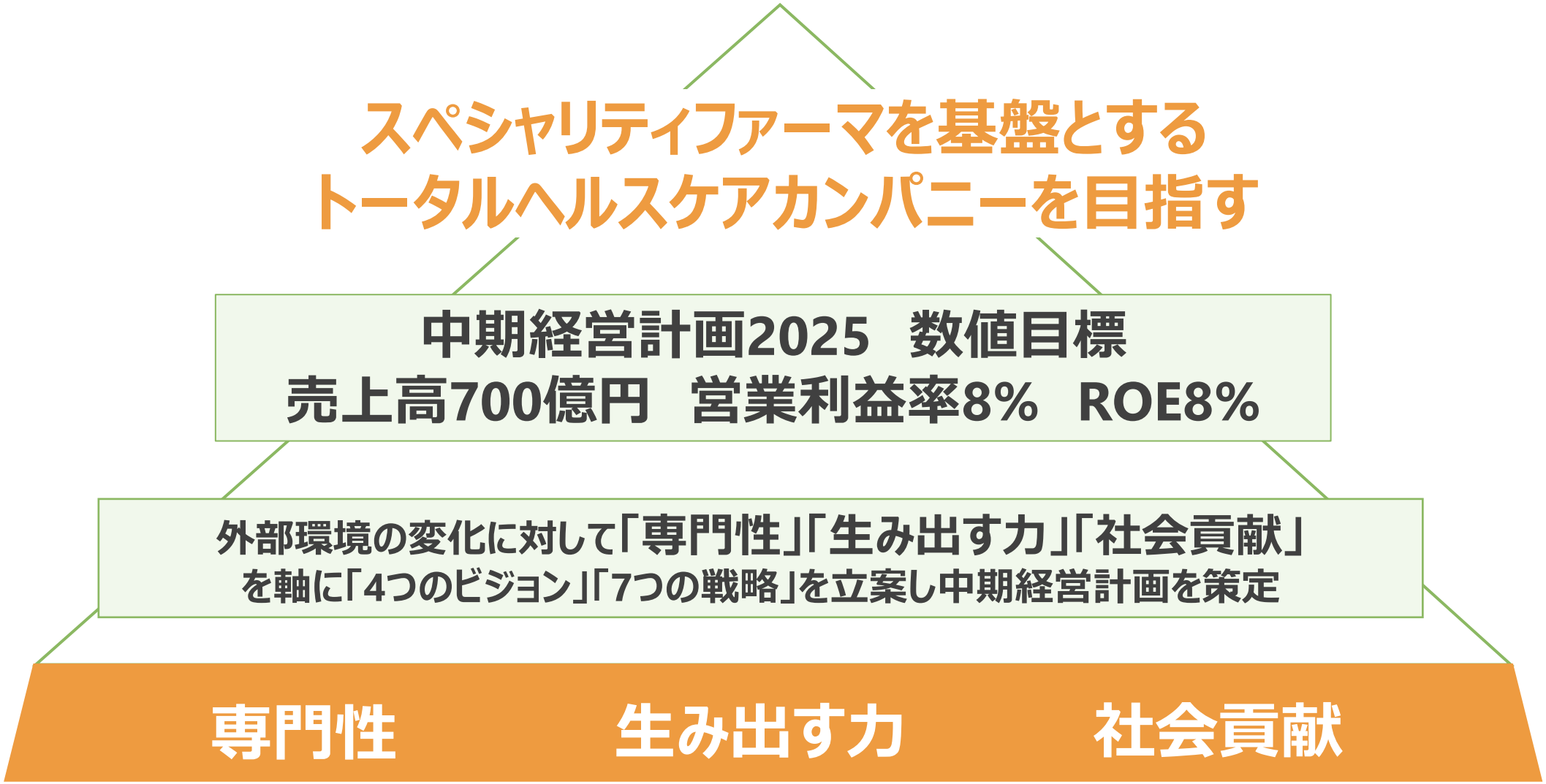
シナジーの創出

グループ間連携の深化

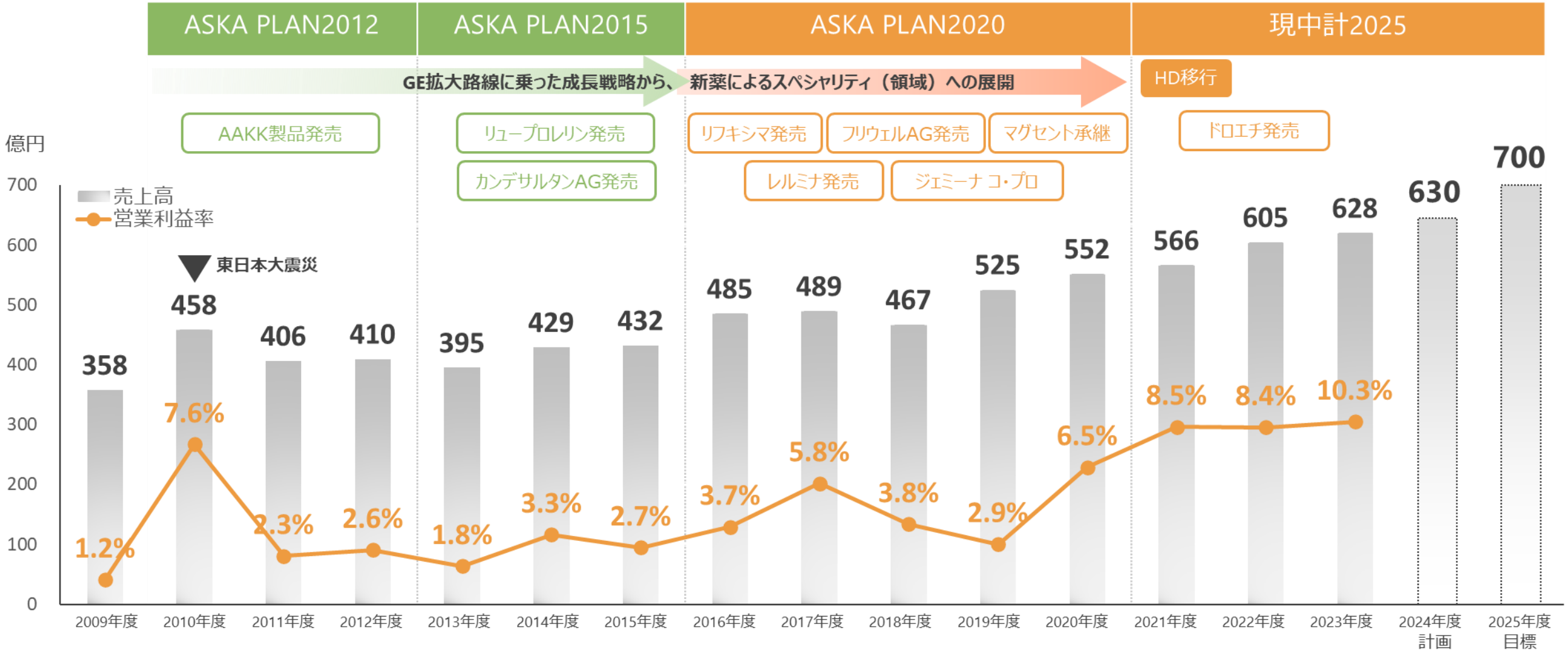
各分野での連携・協業

あすか製薬ホールディングスの成長戦略

中期経営計画2025の目指す姿



あすか製薬 過去15年の業績振り返り（連結）



中期経営計画2025 4つのビジョンと7つの戦略

4つのビジョン

① 医療用医薬品を軸にスコープ（領域、地域）を拡大する

② オープンイノベーション推進により業務革新を実現する（研究開発ー生産ー販売まで）

③ 中核となる国内医薬品事業（スペシャリティ領域）で国内トップを確立する

④ 社会から信頼され続ける会社であり続ける

7つの戦略

スペシャリティ領域の取り組み強化による企業価値向上（①）

先端創薬による新薬の継続的創出（②）

海外事業の展開（③）

トータルヘルスケア実現に向けた新たな価値提供

業務効率化、コスト削減、財務基盤の強化

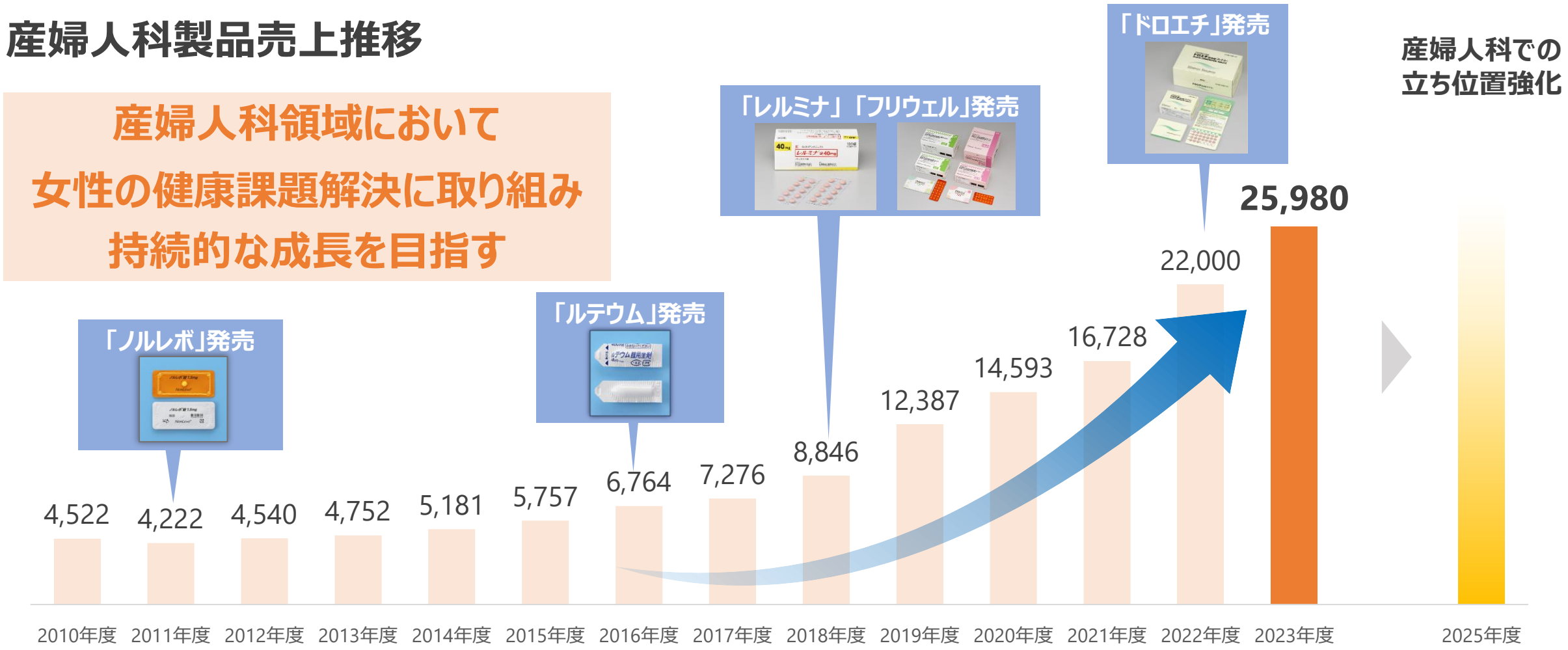
コンプライアンスの徹底と信頼性を重視する組織風土の醸成

成長戦略を実現するための人材育成

7つの戦略　①スペシャリティ領域の取り組み強化による企業価値向上

産婦人科製品売上推移

産婦人科領域において
女性の健康課題解決に取り組み
持続的な成長を目指す



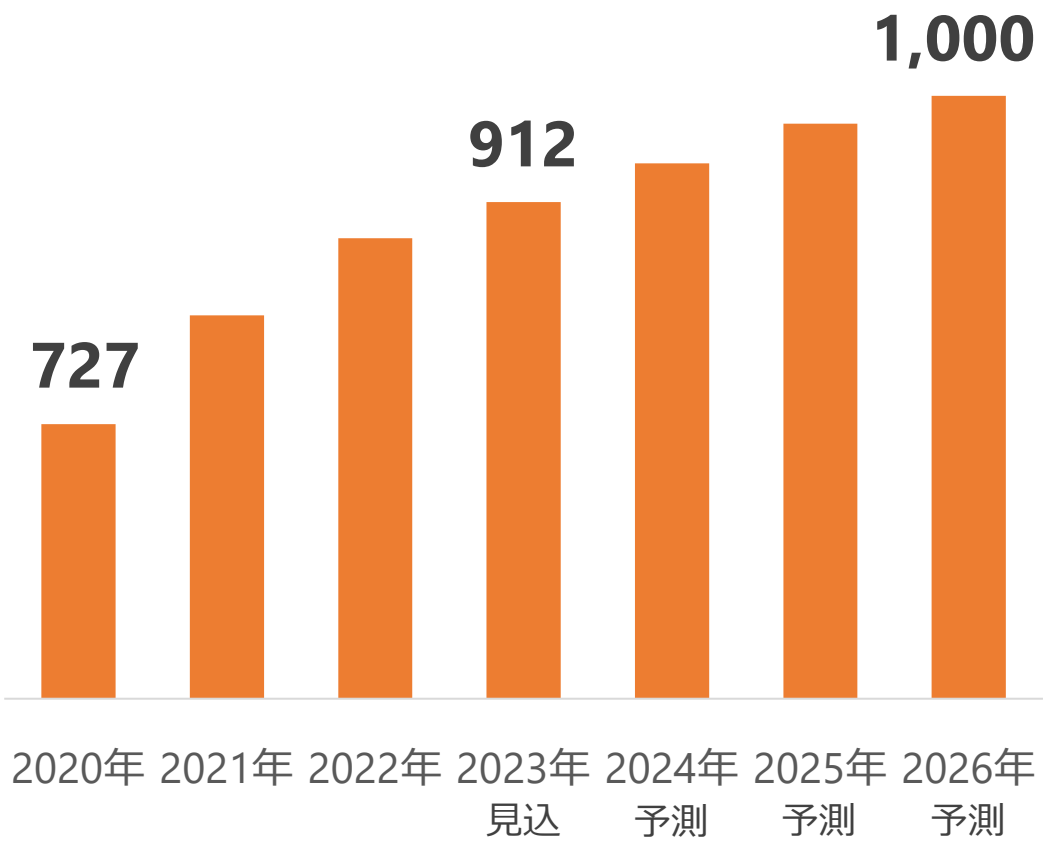
産婦人科での
立ち位置強化

産婦人科領域での年度売上No.1※を達成

※　自社集計（単位：百万円）

産婦人科市場の推移と女性を取り巻く環境変化

産婦人科市場規模推移※ （単位：億円）



政治的環境の変化

- ✓ 女性版骨太の方針2024に、女性活躍の推進に関する記載が充実（月経、妊娠・出産、更年期等、女性のライフステージごとの健康課題と仕事の両立支援 等）
- ✓ 婦人科特定疾患治療管理料の新設、不妊治療保険適用化

社会的環境の変化

- ✓ 女性活躍推進による女性就業者数の増加、女性管理職登用の増加
- ✓ 女性特有の健康課題への注目、メディア、SNSなどの露出回数増加によるヘルスリテラシーに対する意識の向上

技術的環境の変化

- ✓ 月経困難症治療や不妊治療など、女性特有の疾患に関する医薬品開発、医療技術の進化
- ✓ インターネットの普及による健康情報へのアクセス向上、オンライン診療拡大など医療アクセスの変化

産婦人科市場は持続的な成長を予測

※ 株式会社富士経済「保険適用で注目される産婦人科関連市場のトレンド分析と将来予測」
株式会社富士経済「2023保険適用1年後の婦人科関連市場のトレンド分析と将来予測」 無断転載禁止

女性のライフステージ別　産婦人科製品一覧

幼少期	思春期	性成熟期	更年期	老年期
	避妊薬	ドロスピレノン（LF111）　アンジュ　ノルレボ	更年期障害	ホーリン
	鉄欠乏性貧血	リオナ（コ･プロ※）		
	性感染症	ラピッドエスピー（コ･プロ※）		
	子宮筋腫 子宮内膜症 月経困難症 月経異常	レルミナ　リュープロレリン　AKP-022 ジェミーナ（コ･プロ）　フリウェル（AG）　ドロエチ配合錠 PMS/PMDD治療薬　プラノバール　TRM-270		
	切迫流早産 陣痛促進	マグセント　マグネゾール　メチルエルゴメトリン リトドリン　アトニン-O		
	不妊症	HMG注用　uFSH注用　セキソビット ルテウム　ゴナトロピン		

当社が開発中の産婦人科製品
LF111（承認申請中）
AKP-022
TRM-270

ラインナップを拡充し
女性医療に貢献

販売中　開発中　申請中

※主に産婦人科領域を対象

甲状腺領域のリーディングカンパニー



甲状腺製剤国内シェア 95%以上※

※ 自社推計

甲状腺ホルモン製剤
- ✓チラーヂンS錠・散・静注液

抗甲状腺剤
- ✓メルカゾール錠・注
- ✓プロパジール

代表的な甲状腺の病気

■男性 ■女性

橋本病（慢性甲状腺炎）

甲状腺ホルモンが少なくなる病気



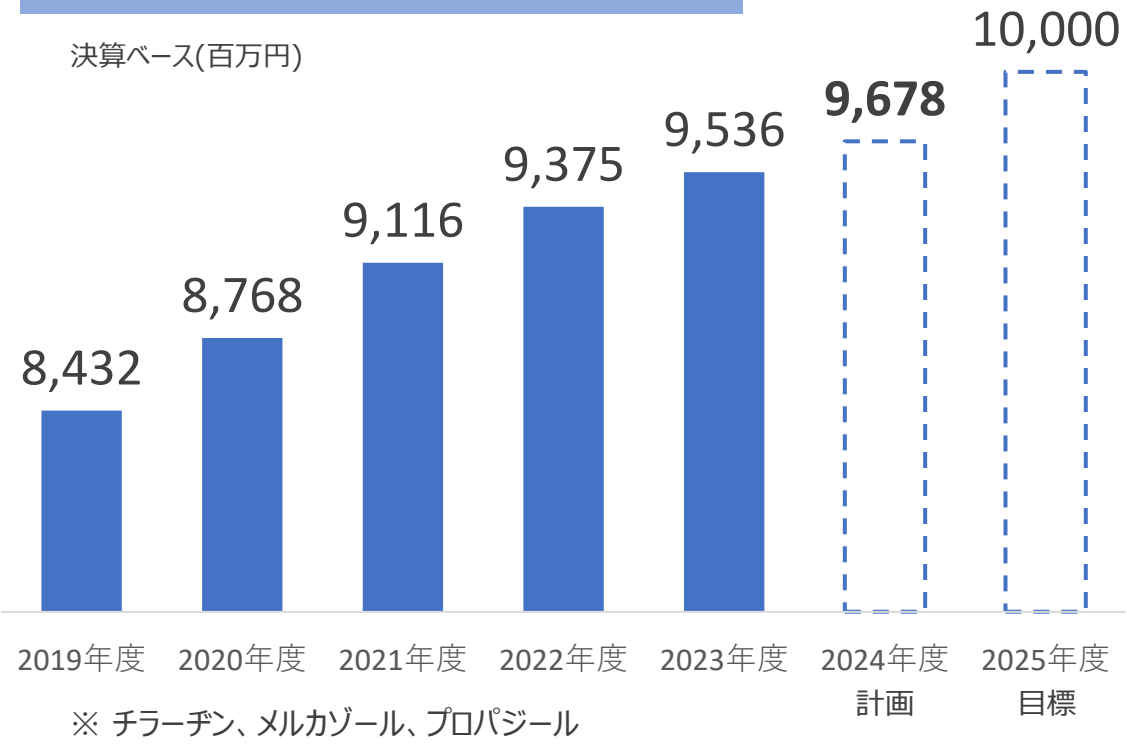
バセドウ病

甲状腺ホルモンを過剰に産生する病気



日本内分泌学会ホームページより当社作図

甲状腺疾患治療剤※の売上推移



※ チラーヂン、メルカゾール、プロパジール

疾患啓発の推進と安定供給の確保

女性の健康への貢献　～新たな取り組み～

他社協業の推進

- TORAY Innovation by Chemistry と産婦人科領域での医療機器共同開発
- SUSMED Sustainable Medicine と産婦人科領域での治療用アプリ共同開発
- RED ARROW THERAPEUTICS と妊娠高血圧症候群治療薬の共同研究
- Melody International と「分娩監視装置iCTG」コ・プロモーション契約締結

アラウンドピルへの展開

- LIFEM とフェムテックに関する包括的業務提携
- 女性のウェルビーイングに特化した「NEXT BLUE2号ファンド」への出資
- 女性の健康に関する研修動画の販売を開始



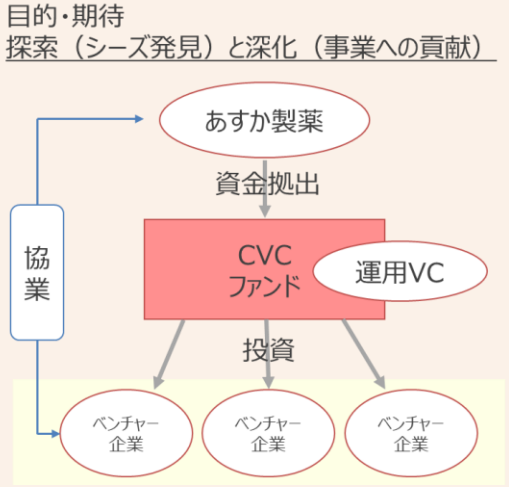
フェムナレッジ®
Mint+ Femknowledge

コーポレート ベンチャー キャピタル ファンドの設立

先端の創薬技術で女性の健康課題解決を目指す
「あすかイノベーションファンド」設立

■投資テーマ
女性の健康課題解決（最優先）、
医薬品研究、デジタル医療、アニマルヘルス・診断薬

ファンドの概要図



**従来の方法に加え
新たな手段で
女性の健康課題
解決に取り組む**

女性の健康への貢献活動

啓発コンテンツ

女性のための健康ラボ Mint+

創立100周年を機に2020年より運営開始



キーメッセージ

知ることは、自分を守ること。



女性に寄り添った情報発信をすることで、毎日を前向きに健康で豊かな人生を送るためのヒントを発信しています。

あすか　ミント　検索

プロジェクト参画

公益社団法人日本産科婦人科学会・公益社団法人日本産婦人科医会
女性の健康週間
産婦人科医は、女性を守り続けます。
ー 生涯主治医がいる安心を ー

×

なりたい自分をデザインする
丸の内キャリア塾
Marunouchi Career Academy



女性のための働き方改革！
生理快適プロジェクト

Women's Health Action

女性に寄り添った情報を発信し、女性の健康を応援する活動を展開しています

7つの戦略　②先端創薬による新薬の継続的創出

2020年4月に川崎研究所を閉鎖し湘南ヘルスイノベーションパーク※へ移転
オープンイノベーションを加速し創薬研究を強化

※製薬企業のみならず、次世代医療、AI、ベンチャーキャピタル、行政など、幅広い業種や規模の産官学が結集している施設。他社、他業種との協業を進めることで先端創薬による新薬の創出を目指す。



2021年4月にロンドンオフィスを設立し既存パートナーとの提携を強化
海外製薬企業・バイオテック・学術機関との新規提携をさらに加速

開発パイプライン

研究開発の状況 （2024年6月時点）

開発番号(一般名)／領域･効能	研究※1	非臨床※1	PhⅠ	PhⅡ	PhⅢ	申請	承認
LF111（ドロスピレノン） 避妊							申請済
(オプション契約) PMS/PMDD※2治療薬　レナサイエンスにて開発中				医師主導PhⅡ 実施中			
AKP-022（レルゴリクス配合剤） 子宮筋腫				PhⅠ/Ⅱ 実施中			
テーマA / 産婦人科領域							
テーマB / 産婦人科領域							
TRM-270 (癒着防止材) 消化器領域･産婦人科領域					PhⅢ 実施中※3		
L-105 (リファキシミン) 肝性脳症（小児）							承認
テーマC / 内科領域							
AKP-009 (ルダテロン酢酸エステル) 前立腺肥大症				PhⅡa 終了※4			
AKP-017（テストステロン経鼻剤）			開発準備中				
AKP-021 （mPGES-1阻害剤）							

※1 研究、非臨床のため詳細は非開示　※2 月経前症候群/月経前不快気分障害
※3 産婦人科を対象とした臨床試験を開始（2023年11月）※4 追加PhⅠの結果を受けデータを再確認するために再度PhⅠ試験を実施中です

7つの戦略　③海外事業の展開

アジア地域での事業展開

ベトナム

Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Company（ハタファー社）

ベトナム製薬業界売上高第4位のハタファー社株式 34.9%を取得
持分法適用関連会社化し、戦略的パートナーとして提携

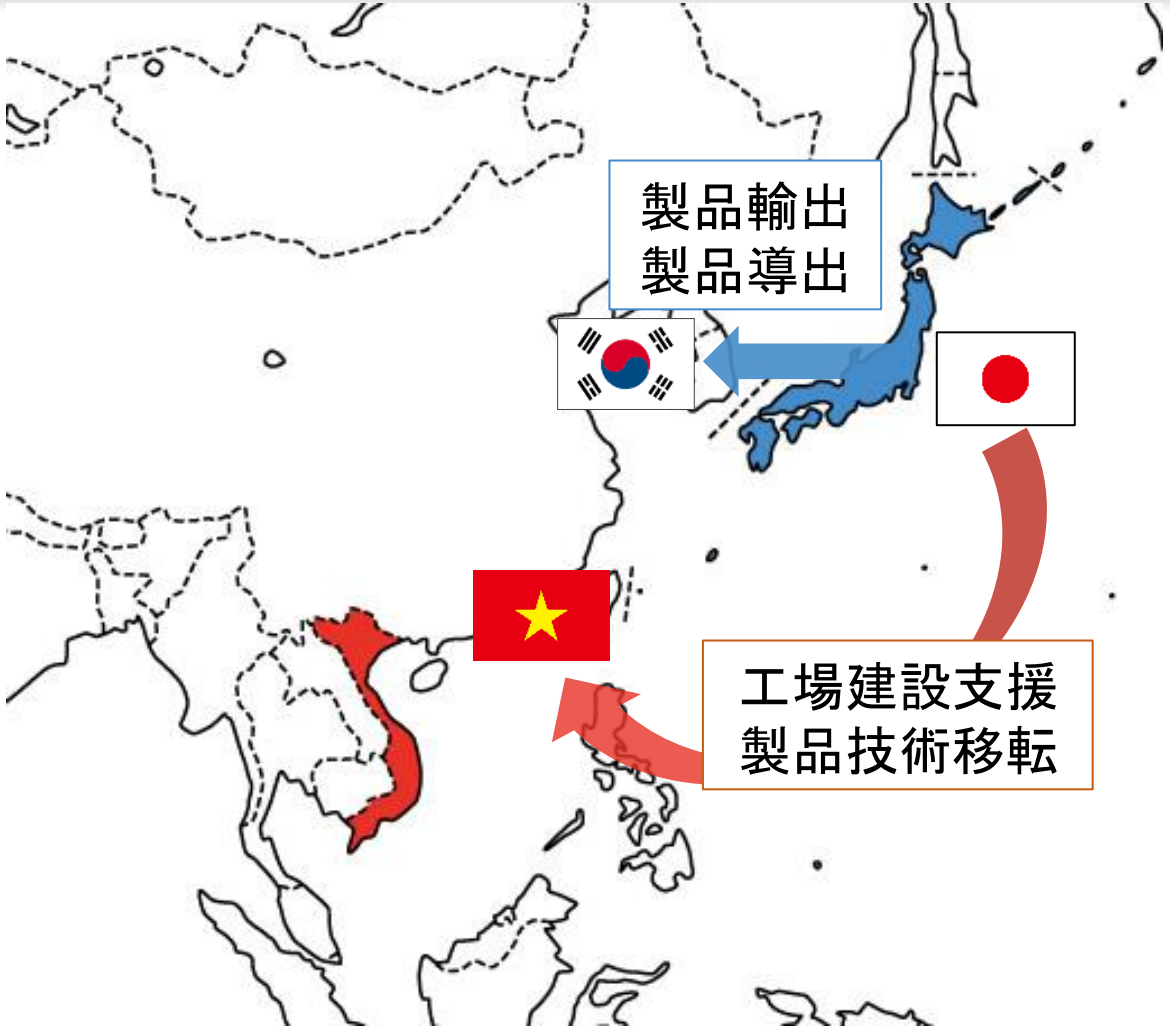
韓国

経口避妊薬「ドロスピレノン」に関するライセンス契約締結

契約先：Hyundai Pharm. Co., Ltd. (韓国 ソウル)

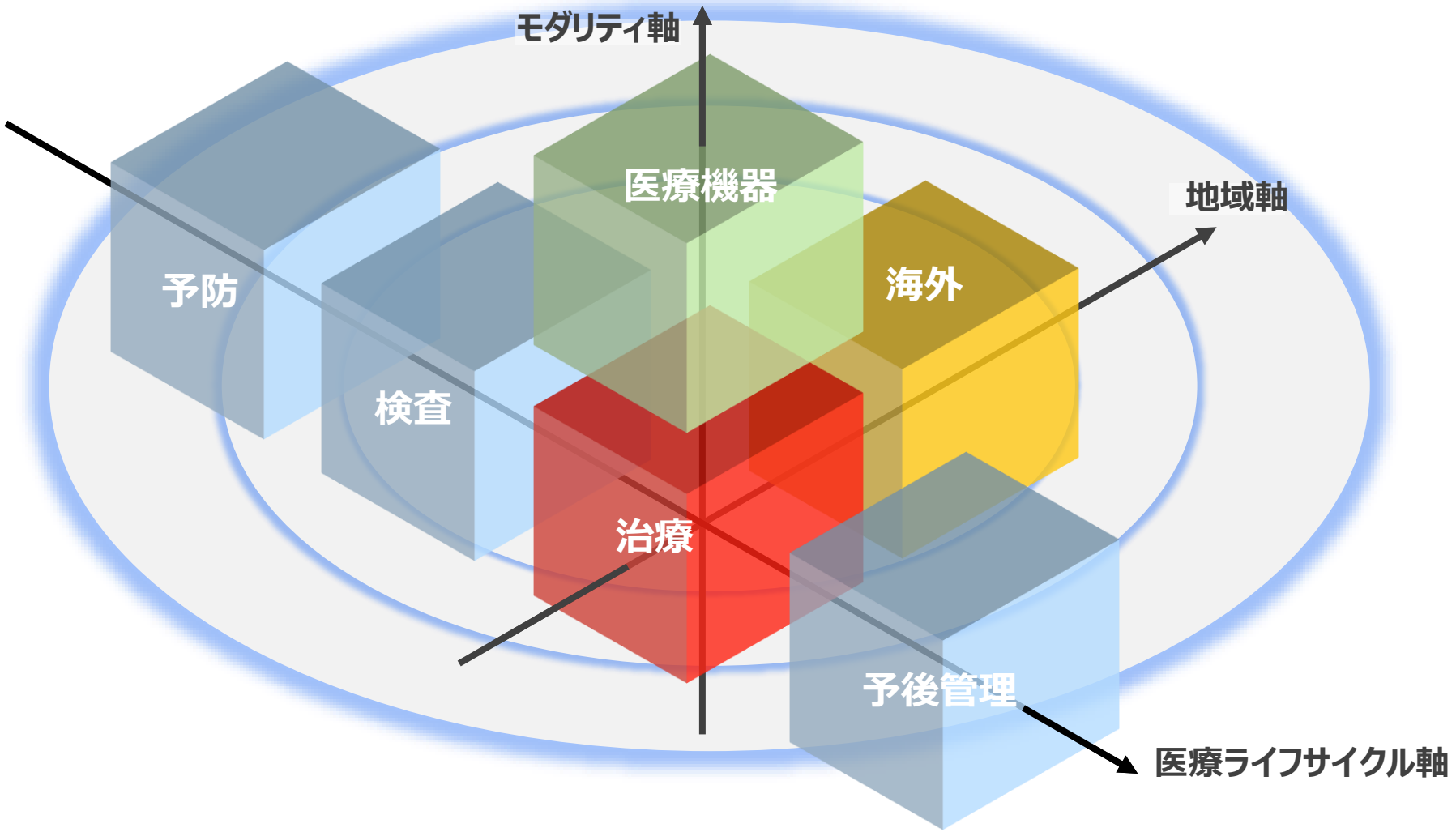
韓国にて製造販売承認申請を実施

- Hyundai Pharm が2023年3月31日に韓国の規制当局である食品医薬品安全処に製造販売承認を申請



ハタファー社と協業しベトナムを中心に
東南アジアへの展開を目指す

スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニーを目指す



広く健康をサポート

サステナビリティへの取り組み

あすか製薬ホールディングスのマテリアリティ

経営理念：先端の創薬を通じて人々の健康と明日の社会に貢献する

環境

・環境の保護と環境負荷の継続的低減

ガバナンス

・コーポレート・ガバナンス
・法令遵守とコンプライアンスの徹底

スペシャリティファーマを基盤とする
トータルヘルスケアカンパニーを目指す



当社が貢献していくSDGs

社会

・女性の健康への貢献
・アニマルヘルスへの貢献
・人材育成
・従業員エンゲージメント
・革新的な製品の創出
・高品質な製品の安定供給
・製品の品質と安全性確保
・製品の適正使用推進

特定した17項目のマテリアリティを精査し11項目に集約

カーボンニュートラルに対する取り組み

あすか製薬のCO_2排出量

2013年度	2023年度
17,726t	9,004t（49.2% 削減）

CO_2削減の取り組み

- いわき工場におけるコージェネレーションの導入
- MRのハイブリッド営業車の導入
- 本社LED化
- いわき工場クリーンエネルギーへの切り替え促進
- 本社使用電力の**再エネ化**
- **オンサイト PPA による太陽光発電電力の受電**



更なるCO_2削減に向けた検討

- クリーンエネルギー促進
- ヒートポンプ設備の導入
- いわき工場LED化

引き続きCO_2削減に向け取り組んでいく

ESG・サステナビリティの取り組みと外部評価

ESGへの取り組み

WE SUPPORT
UN GLOBAL COMPACT

国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト（UNGC）」に賛同を表明する署名を行い、2022年1月18日付で参加企業として登録されています。

ESGインデックスへの組み入れ

ESGの活動が評価され、下記ESGインデックス構成銘柄に選定されています。

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

FTSE Blossom Japan Index

S&P/JPX カーボン エフィシェント 指数

外部評価

2024 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500

健 健康優良企業

2022年認定 くるみん 子育てサポートしています

NIKKEI Smart Work ★★★ 2024

NIKKEI SDGs 経営調査 2023 ★★★

2023 “共感!”IR賞 member of Japan Investor Relations Association

経営成績・株主還元方針

2023年度　損益計算書（連結）

単位：百万円

	2022年度	2023年度	増減額	増減率
売上高	60,461	62,843	2,381	3.9%
売上原価	31,876	32,178	301	1.0%
売上総利益	28,584	30,664	2,079	7.3%
販売費及び一般管理費	23,476	24,164	687	2.9%
営業利益	5,108	6,500	1,392	27.3%
経常利益	5,232	6,522	1,289	24.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,238	7,545	3,307	78.0%

※ 2023年度は投資有価証券の売却に伴う特別利益を3,340百万円計上

2024年度　業績予想（連結）

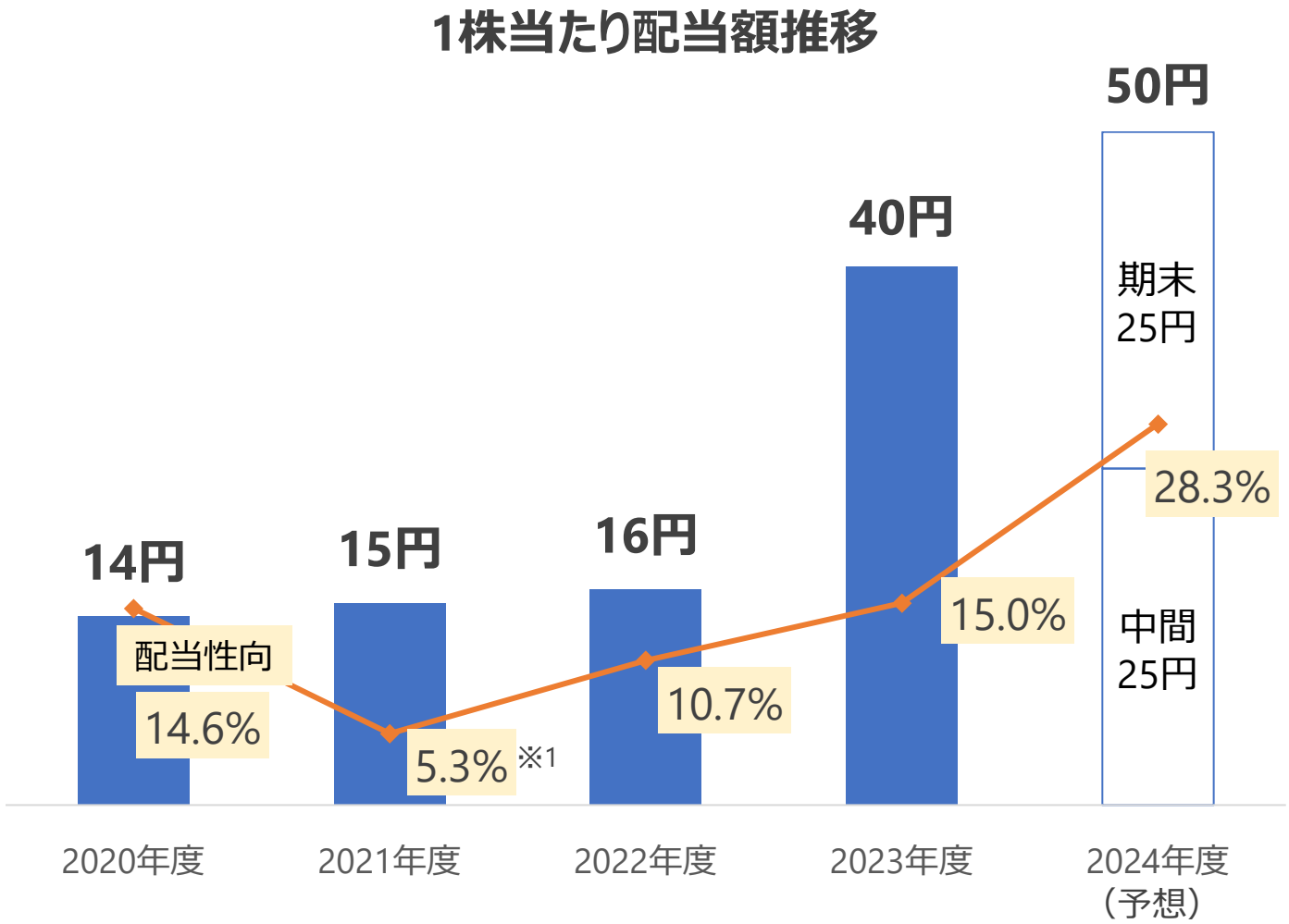
単位：百万円

	2023年度 実績	2024年度 予想	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	62,843	63,000	156	0.2%
営業利益	6,500	6,700	199	3.1%
経常利益	6,522	6,700	177	2.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,545	5,000	△2,545	△33.7%

主な要因

- **売上高は、主力の医療用医薬品事業において毎年薬価改定の影響を受けるものの、レルミナを中心とした産婦人科領域製品等の伸長が寄与し、増収を予想**
- **利益面は、研究開発費の増加が見込まれるものの、売上総利益の増加、減価償却費の減少等により、営業利益、経常利益は前年度を上回る見込み**
- **親会社株主に帰属する当期純利益については、2023年度に政策保有株式の売却益が発生したことを受け、2024年度は減益となる見込み**

株主還元の強化



株主還元方針

2024年度以降は業績連動利益配分として、連結配当性向30%を目安といたします。また、一株当たり配当金の下限は年間30円として、業績に連動した利益還元を行いつつ安定的な配当を維持する方針といたします。
2024年度については2023年度より10円増配し、年間50円を予定しております。

※1 2021年度の中間配当7円は、その他資本剰余金からの配当であり、配当性向から除外して算出しております。

株主・投資家様向け情報のご案内

当社ホームページおよび各種SNSにて情報発信しておりますので是非ご覧ください

IRサイト

https://www.aska-pharma-hd.co.jp/invest/

企業ホームページ 最優秀サイト 2023 日興アイ・アール 総合部門

Gomez IR Site Ranking IRサイト 総合ランキング 銅賞 2023年

IRメール配信サービス

当社のIRに関する最新情報をメールでお届けします。

IRメール配信サービス登録

https://www.aska-pharma-hd.co.jp/invest/mail.html

女性のための健康ラボ Mint+

https://www.aska-pharma.co.jp/mint/



YouTube

@ASKA_Pharmaceutical

https://www.youtube.com/channel/UCrQHYk0JSKuE25fAzdfQ43g

X

@aska_pharma_hd

https://twitter.com/aska_pharma_hd

Instagram

@aska_pharma2005

https://www.instagram.com/aska_pharma2005/

あすか製薬ホールディングスグループ
コーポレートメッセージ

あすも、みらいも、すこやかに

あすか製薬ホールディングス株式会社

重要な注意

- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。

- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

証券コード：4886
あすか製薬ホールディングス株式会社

お問い合わせ先

グループ経営企画部

e-mail：　kouhou@aska-pharma.co.jp